

安曇野市新本庁舎・防災広場 竣工

平成27年1月22日

質実剛健で、
市民に喜ばれ、
次世代へ引き継がれる市庁舎。



市長あいさつ

市制施行10周年を迎える記念すべき年に、合併以来の懸案事項でありました新本庁舎ならびに防災広場が完成しました。

これもひとえに地権者の皆さまをはじめ、市民の皆さま、市議会議員、本庁舎等建設検討委員会、本庁舎等建設審議会等、関係各位の温かいご理解とご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。

新本庁舎建設にあたっては、必要性や規模・機能、財源、建設場所といった課題について、民主的手続きを踏み、真摯にご協議をいただいた結果、基本構想がまとまりました。

また、基本計画の段階から設計に至るまで、ワークショップを開催し、多くの市民の皆さまに参画を賜り、頂戴したご意見やご提案を基本設計に反映させることができました。

設計は、国内外に著名な内藤廣氏を代表とする設計共同企業体に手がけていただき「質実剛健で、市民に喜ばれ、次世代へ引き継がれる市庁舎」をコンセプトに、安曇野の景観に融合し、ユニバーサルデザインを採り入れた、高齢者をはじめ障がいをお持ちの方やお子様連れの方など、庁舎へ訪れる全ての方々がかつろげ、安心して利用いただける建物となっております。

また、一層の市民サービス向上とワンストップサービスの推進を図るため、市民の皆さまが日常生活において身近な窓口を1階に集約することで、窓口機能の充実や利便性を確保しております。

建物は、地震等の災害に際し、市民の皆さまの「安全・安心」の確保や防災拠点としての活動を維持するため、免震構造を採用しました。

さらに、自然採光や自然換気、太陽光発電など自然エネルギーを積極的に活用するとともに、雨水貯水槽の設置や半地下式駐車場を設けるなど、環境や経済性にも配慮した庁舎となっております。

5月以降は、通常の開庁日はもとより、土曜日と日曜日、祝日も1階東側ロビーと4階の会議室・展望デッキ等のスペースを市民の皆さまに開放いたします。

外苑の緑地内には、癒しの空間として遊歩道やせせらぎを設け、小さなお子様も楽しめるようにドングリの木等も植えてありますので、周辺の豊科近代美術館、豊科交流学习センター「きぼう」と共に、気軽に訪れ、ご利用ください。

防災広場は、豊科町民プール跡地に整備し、新本庁舎に設置される災害対策本部を補完するためのオープンスペース



安曇野市長 宮澤 宗弘

を優先的に確保しました。

災害時には、復旧、復興活動のための応援部隊設営スペース、ボランティアの受け入れ施設となるほか、緊急支援物資の受け入れや提供場所として利用されます。

平常時においては、防災教育の場、憩いの場として、市民の皆さまに広く開放するとともに、関連する市消防団のポンプ操法大会会場、イベント時の臨時駐車場としても利用いたします。

新本庁舎ならびに防災広場の完成を契機に、職員一同、気持ちを新たに、より効率的な行財政運営を図るとともに、これまでに増して、きめ細やかな市民サービスと、災害に対する対応力の強化に努めてまいります。



4階までの吹き抜け

新本庁舎完成までの経過

平成17年2月23日	合併協定書に「新市の事務所の位置は当面の間、豊科町大字豊科4932番地46(南安自治会館)とする。新庁舎については、住民の利便性、交通事情及び他の官公署との関係等を考慮し、新市において検討する」と確認
平成17年10月1日	安曇野市が発足、本庁機能を分庁方式とし、8箇所の事務所により業務開始
平成18年11月～平成19年10月	庁内組織による「安曇野市行政機構等研究委員会」を発足、「安曇野市の庁舎の現状と課題」を市長に報告
平成19年10月～平成20年4月	市民組織による「安曇野市本庁舎等建設検討委員会」を発足、市民サービスを優先することを基本にしながら適切な規模の本庁舎を建設する事が必要である旨の「本庁舎等建設についての提言書」を市長に提出
平成20年10月～平成21年5月	条例に基づき「安曇野市本庁舎等建設審議会」を設置 建設に係る課題等についての調査を行い「建設基本構想その他必要な事項」について市長に答申 ～ 市民アンケート、地域審議会による答申、市民説明会、パブリックコメント ～
平成21年7月	「安曇野市本庁舎等建設基本構想」を策定
平成21年8月10日	総務部に本庁舎建設準備室を設置、平成23年4月庁舎建設推進課に改称 ～ 市民説明会の実施 ～
平成22年2月	農地法等の一部改正に伴い、建設候補地を再選定、豊科地域の市街化区域内で5箇所の候補地を選定 ～ 地元区を中心に市民説明会を7会場で実施 ～
平成22年5月	建設候補地を「豊科近代美術館及び豊科プール跡地周辺ゾーン」とし、本庁舎及び防災広場として整備することを決定 ～ 地元3区説明会、地域審議会による提言、市民説明会、ユニバーサルデザイン市民会議・パブリックコメント ～
平成22年9月22日	「本庁舎建設を求める決議案」が市議会において可決
平成22年12月	「安曇野市本庁舎等建設基本計画」を策定
平成23年2月4日	用途地域変更により、建設予定地が第二種住居地域になる
平成23年3月1日	建設予定地内の都市計画道路が都市計画決定の変更により廃止(告示)
平成23年6月30日	プロポーザルコンペにより、内藤・小川原・尾日向設計共同企業体が最優秀者に決定
平成23年7月25日	「建設用地の土地の取得」、「安曇野市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」議案が可決される ～ 市民説明会、基本設計市民ワークショップの開催 ～
平成24年1月31日	基本設計業務が完了 ～ 設計者代表の内藤廣さん講演会の開催 ～
平成24年5月14日	用地造成工事に着手
平成24年12月14日	実施設計業務が完了
平成25年2月5日	一般競争入札により、前田・岡谷特定建設工事共同企業体が建設工事を落札
平成25年2月26日	工事請負契約議案が可決
平成25年3月27日	起工式を挙行 ～ 市民現場見学会を4回にわたって開催 ～
平成26年11月26日	インフレスライド条項による変更契約を議決
平成26年12月3日	市内小中学生代表による記念植樹祭を開催
平成27年1月15日	完成
平成27年1月22日	竣工式
平成27年2月	市民内覧会実施予定
平成27年5月7日	開庁予定



基本設計市民ワークショップ



建設中の新本庁舎(安曇野赤十字病院より)



市内小中学生代表による記念植樹祭

建物の特徴

質実剛健な庁舎

シンプルな形状でコストに配慮し、長寿命の建物にしました。外周すべてにバルコニーを設け、日射調整、メンテナンス通路、避難経路として使用します。

災害に強い庁舎

災害発生時の司令塔として大震災にも対応できるよう、免震構造を採用するとともに、主構造には工場で製造した、高強度コンクリートの柱や梁を使用して、地震に強く、丈夫で耐久性のある建物としました。また、ライフラインが寸断しても72時間は災害対応が持続できるよう、非常用発電機や上水道貯水槽、下水汚水槽を設置しています。

市民の皆さんに愛され、親しまれる庁舎

市民サービスに関する窓口を1階に集約し、市民の皆さんのほとんどの用事が1階で行えます。階段やトイレなどを左右対称に、また、事務所は中心に配置するなど、単純な平面プランにして利用しやすい庁舎にしました。

東側正面入口付近には、屋根付きの車イス利用者駐車場を4台分、高齢者・妊婦優先駐車場を6台分、また、西側入口付近に2台分、地下駐車場に2台分の車イス利用者駐車場を配置しました。また、多機能トイレを各階に、授乳室、キッズコーナーを1階に設けました。

4階の大・小会議室は、閉庁日には市民の皆さんに開放します。また、北アルプスが望める眺望スペースは、豊科近代美術館などを訪れた観光客を含め、市内外の多くの皆さんが利用いただけるようにします。

安曇野の自然と景観に配慮した庁舎

近隣の景観に配慮した低層(4階)の建物です。また、外装には市有林を伐採したヒノキパネルを使用するとともに、内装には県内産のカラマツを使用し、安曇野らしい温かみのある庁舎としました。

環境負荷に配慮した庁舎

空調負荷軽減のために ……

外断熱により断熱性能を高めるとともに、高効率な設備システムを導入しました。自然換気、ナイトパーズ(夏の夜間に冷えた外気を取り入れ、室内にたまった熱を排出する省エネ手法)を導入しました。

太陽高度の高い夏の日射しをバルコニーで遮り、室温の上昇を抑えます。

執務室は、居住域のみを空調する「床吹き出し空調」を採用しました。

消費電力軽減のために ……

太陽光発電を導入するとともに、LED照明やHF(高効率・高出力)照明を導入しました。自然採光を2箇所のポイド(筒状の階段室)に取り入れます。

友好都市寄贈の銘板石を設置



本小松石は、神奈川県真鶴町でのみ採石される、希少性が高い輝石安山岩です。約40万年前に箱根火山が噴火したとき、押し出された溶岩が、海で急速に固まってできました。

このたび、友好都市である真鶴町からの寄贈により、玄関前に設置させていただきました。

温もりのある外装ヒノキパネルを設置



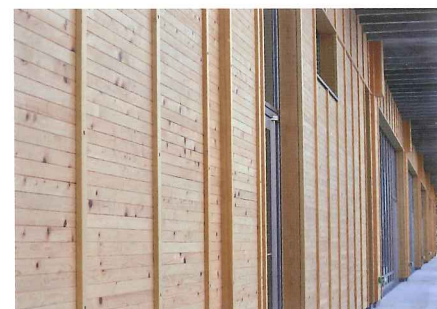
間伐したヒノキ材

市民に親しまれ、長く愛される庁舎を目指し、内外装材には多くの木材が使用されています。内装には県内産のカラマツ板が使用されていますが、外装材は市有林を間伐して製材したヒノキ板が使用されています。

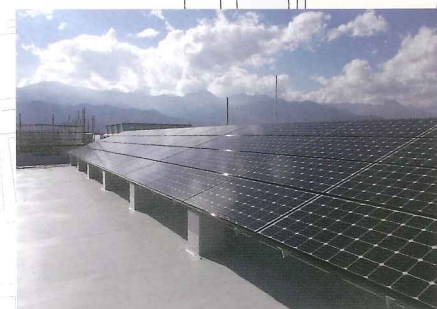
183立方メートルの木材から、長さ1メートル、高さ5センチ、厚さ15ミリの46,500枚の板を作り、これをパネル状にして1階から3階までの外周に貼りました。



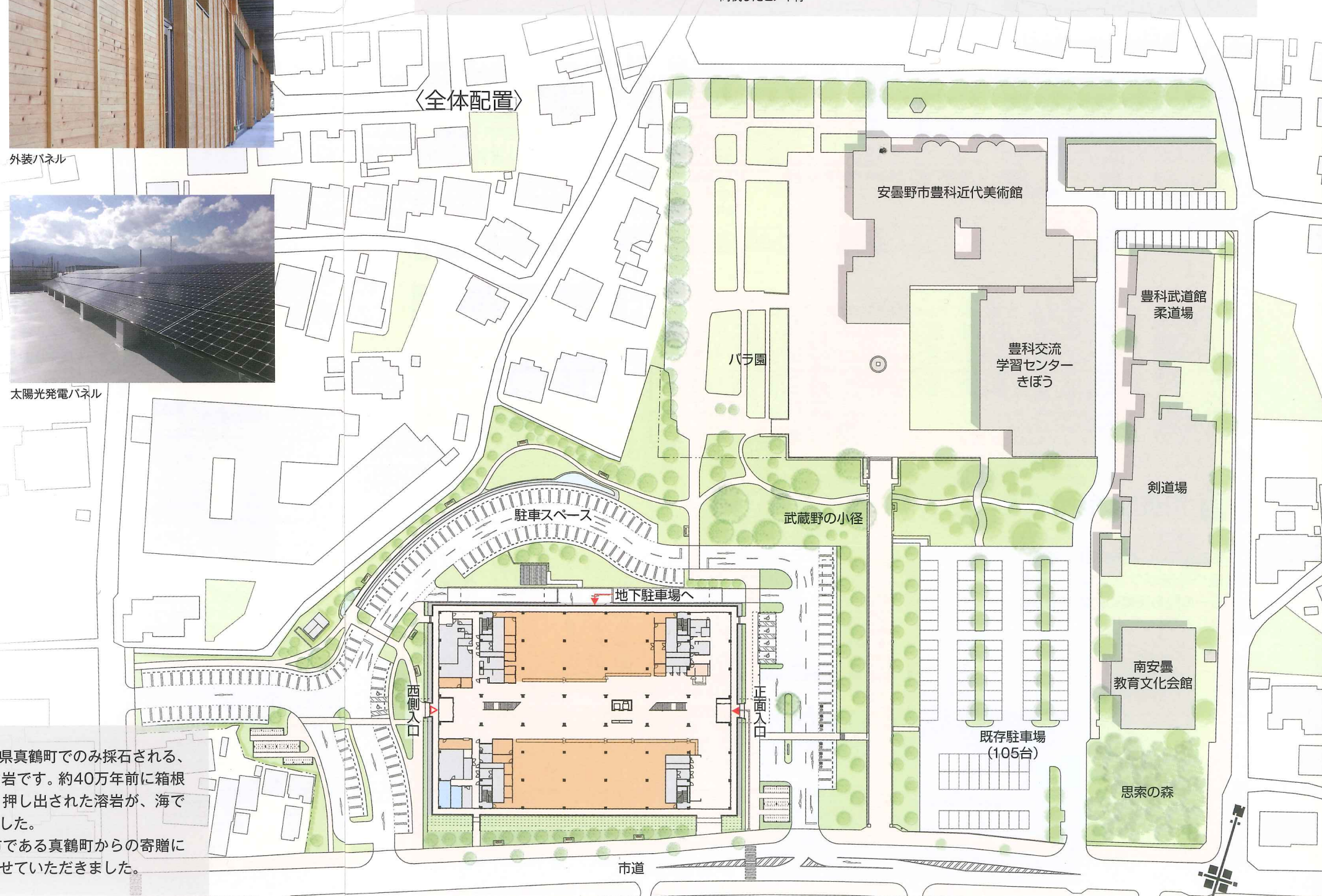
免震装置



外装パネル



太陽光発電パネル



各階のご案内

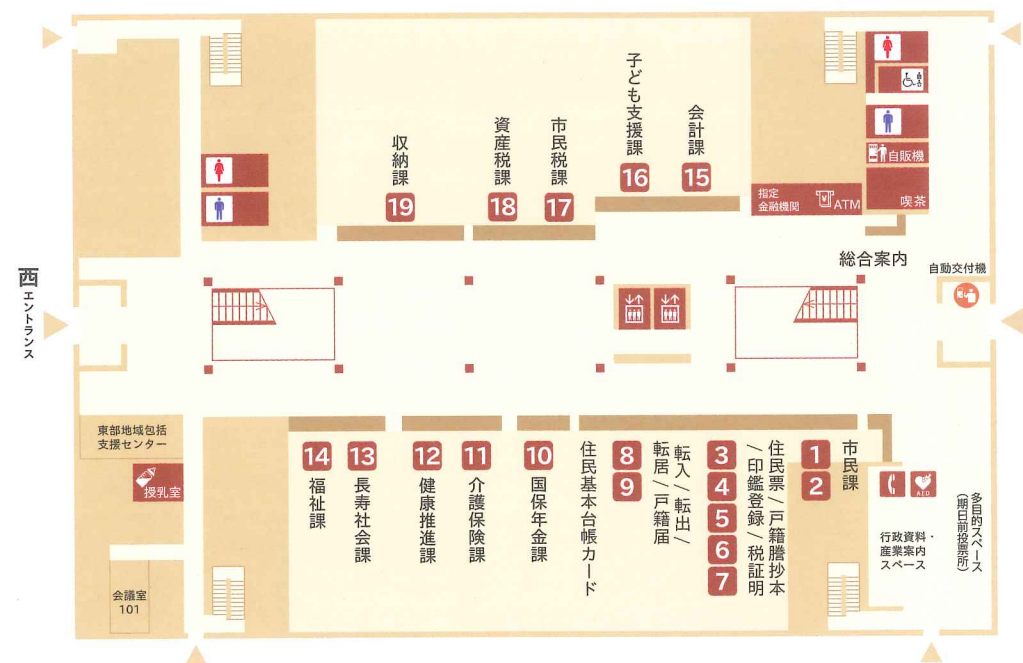
来場者の主な入口は、東側と西側に設け、東側を正面入口としています。大型バスやタクシー、デマンド交通「あづみん」が乗り付けられる、ロータリーを設置します。

市民の皆さんに日頃から気軽に利用していただけるように、1階に多目的スペースや行政資料・産業案内スペースを設けています。周辺の豊科近代美術館、豊科交流学習センター「きぼう」とともにご利用ください。



東側正面入口

1階 市民サービスと憩いゾーン



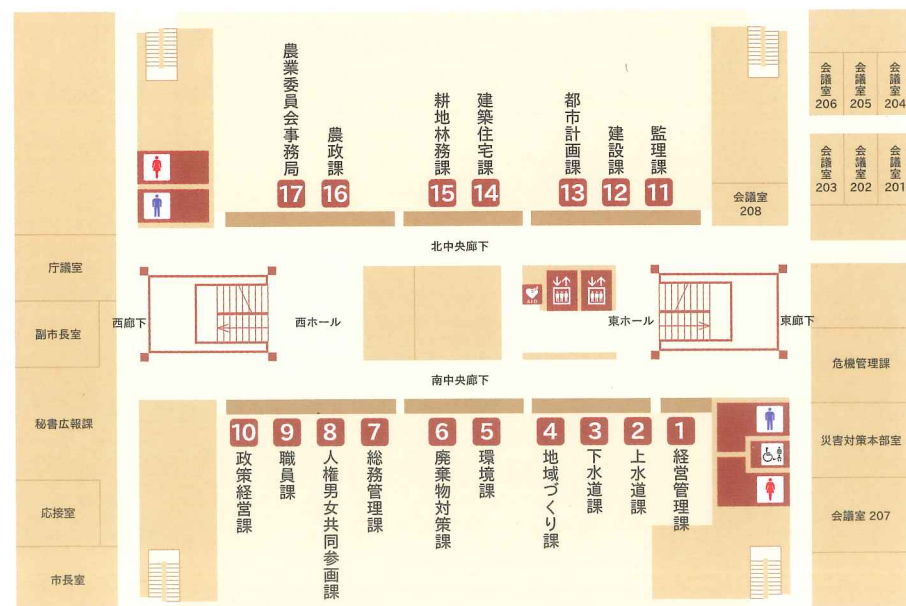
市民の皆さんが日常的に利用する窓口を1階に集約(ワンストップサービス)することで、利便性の向上を図ります。正面入口左に多目的スペース(兼期日前投票所)を設け、憩いの空間を確保します。



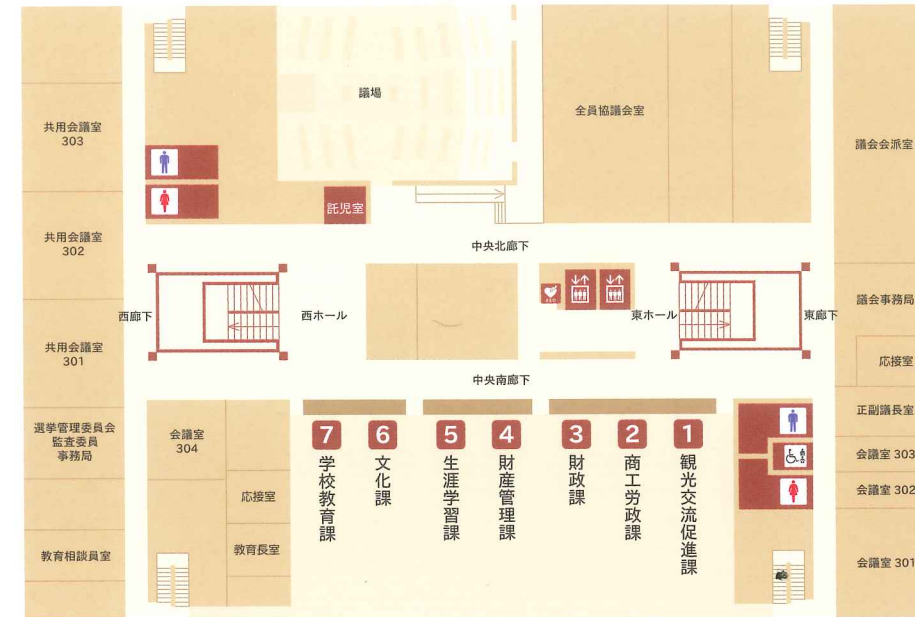
1階執務室

2階 市長室、危機管理、まちづくりゾーン

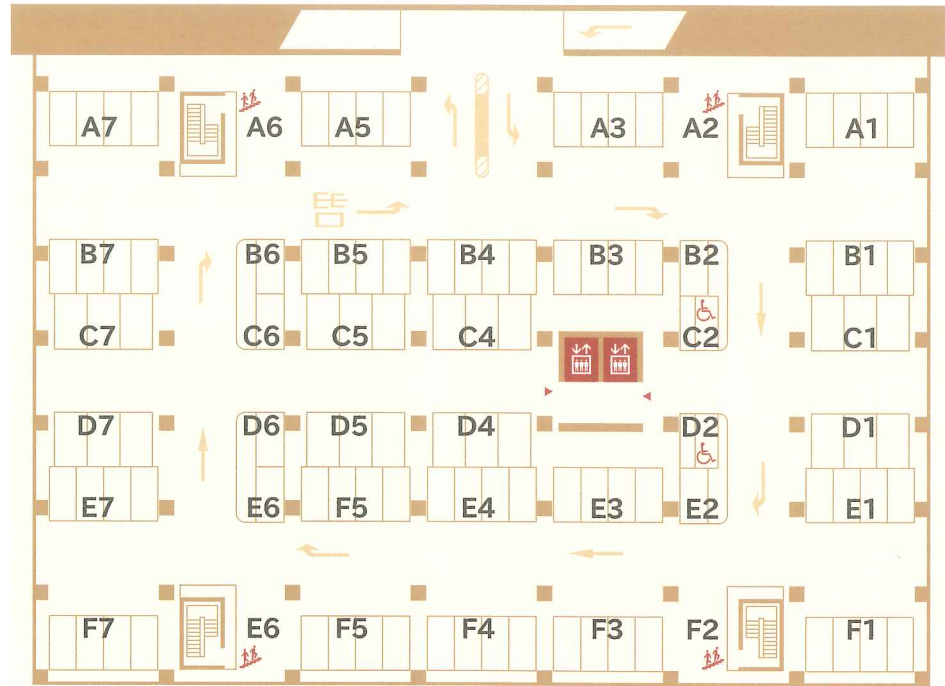
市長室のほか、危機管理、建設、上下水道の部門がワンフロアに配置され、万一の際も迅速に対応できるように配置しました。



3階 議会、教育委員会ゾーン



地階 駐車ゾーン



免震ピットを有効活用して、地下駐車場として利用します。車イス利用者を含め、108台駐車できます。また、大災害発生時には、屋根付の広い空間として、緊急支援物資の受渡し場所としても活用できます。



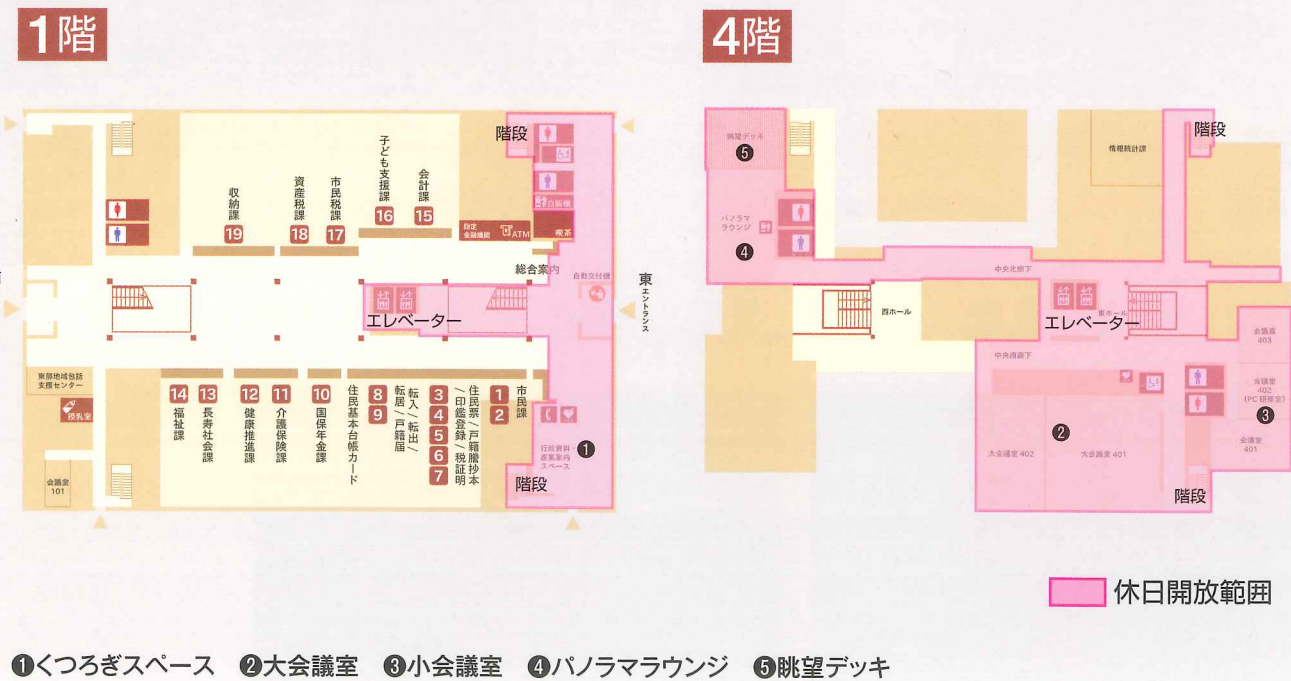
地下駐車場

閉庁日の市民開放

4階に設ける大小の会議室は、閉庁日(休日)に市民の皆さんに開放します。また、北アルプスが望めるパノラマラウンジと眺望デッキは、豊科近代美術館などを訪れた観光客も含め、市内外の多くの皆さんが利用いただけます。

※閉庁日、4階へは、地階駐車場か、東側正面入口から入り、階段またはエレベーターをご利用ください。

(2、3階へは入れません)



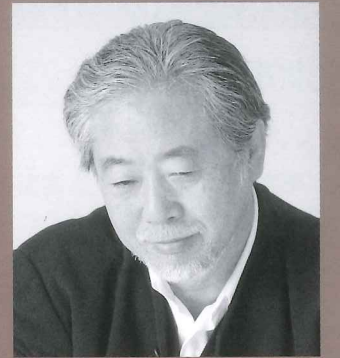
設計者より

市役所は地域の要となる施設です。安全で、無駄がなく、丈夫で長持ち、それでいて地域に愛される、そんな質実剛健な市役所が実現するように努力しました。

建物の特徴は以下の通りです。

- ・どんな地震災害時にも業務が継続できるよう、現在考えられる最善の構造形式である免震構造を採用しました。
- ・広々とした執務空間を実現するために、高品質のコンクリートを工場で作って現場で組み立てるプレキャストコンクリート構法を採用しました。
- ・外周にベランダを巡らし、建物の耐久性を飛躍的に高めるとともに、安曇野の強い日差しを遮り、非常時には避難バルコニーとしても活用できるようにしました。
- ・地元産のヒノキ材やカラマツ材を内外装にふんだんに使い、親しみやすく年とともに味わいが生まれてくるような表情を持たせました。
- ・中央に吹き抜けのある階段室を二つ作り、広い平面に光を導き入れるようにしました。

市長、副市長、議会、市当局の方たちの思いを受け止め、設計者、施工者、現場の職人さんたち、皆一丸となって建設に当たりました。全国に誇れる安曇野らしい質実剛健かつ暖かな印象の建物が出来上がったと思っています。この建物が市民の皆さまに愛され、地域の歴史を刻んでいってくれることを願うばかりです。



内藤・小川原・尾日向設計共同企業体
代表 内藤 廣さん
(建築家・東京大学名誉教授)

新本庁舎の概要

位置	長野県安曇野市豊科6000番地
敷地面積	17,532.76㎡
建築面積	4,927.37㎡
延床面積	地上：16,325.43㎡ 地下：4,877.49㎡
階数	地上：4階 地下：1階
高さ	23.7m
構造	地階：鉄筋コンクリート 1～3階：プレキャスト・プレストレストコンクリート 4階：鉄骨 [柱頭免震]
設計・監理	内藤・小川原・尾日向設計共同企業体
施工	敷地造成 株式会社 藤原建設 本体、外構 前田・岡谷特定建設工事共同企業体 外構 株式会社 藤原建設 植栽 (有)アルプス造園
工事契約額	54億3,845万8,200円(本体、外構工事)
工期	平成25年2月26日～平成27年1月15日
設備概要	地上駐車場 153台(内身障者用8台、高齢者等優先6台) 地下駐車場 108台(内身障者用2台) 駐輪場(来庁者用)52台(職員用)65台 エレベーター 15人乗り 2台 (内1台は緊急時ストレッチャー収容可能)
	自家用発電機 500KVA 太陽光発電設備 10kw 上水道貯水槽 30トン 雨水貯留槽 330トン

建設事業費と財源

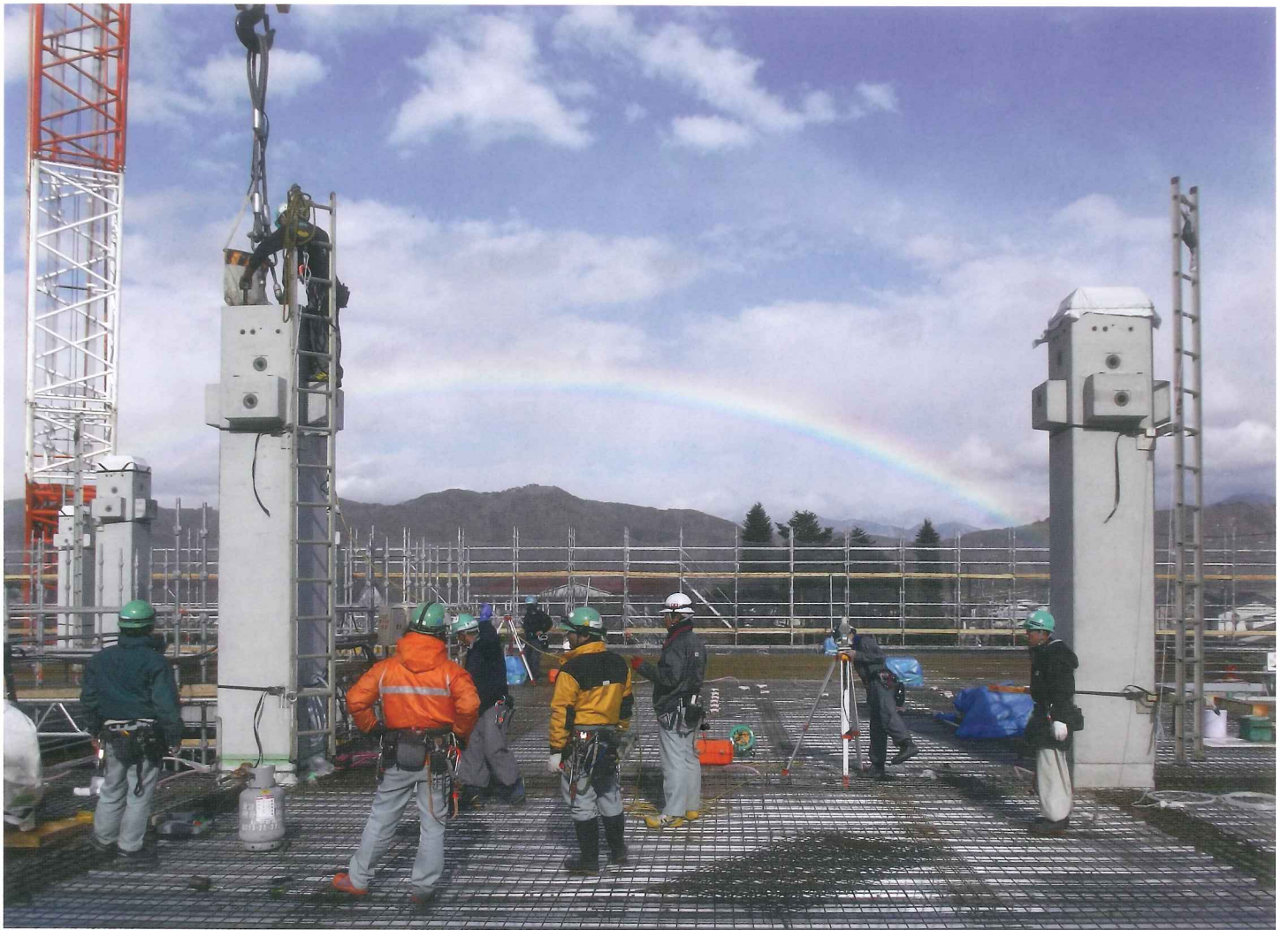
●建設に伴う概算事業費(単位：千円)

用地購入・移転補償	699,972
基本設計・実施設計	96,180
施工・監理	53,857
造成工事	41,528
本体工事費(インフレスライド額を含む)	5,438,458
外構・植栽工事(別途工事分)	101,563
通信・弱電工事(見込み)	33,480
その他工事	10,132
備品購入(見込み)	291,000
引越し(見込み)	14,580
その他	56,574
合計	6,837,324

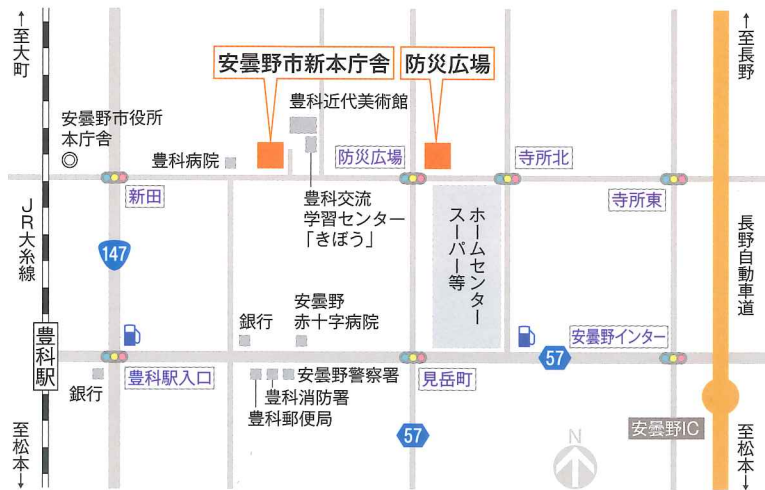
※なお、事業費につきましては、通信・弱電工事、引越し作業や備品等の購入が未了のため、確定ではありません。

●財源内訳(単位：千円)

旧合併特例事業債	6,051,000
長野県合併特例交付金	71,150
一般財源(庁舎建設基金を含む)	715,174
合計	6,837,324



平成26年3月18日 2階柱工事



安曇野市総務部 庁舎建設推進課・危機管理課

〒399-8205 長野県安曇野市豊科6000番地 Tel.0263-71-2000 Fax.0263-71-5000